

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	宿日直関係事務			事業コード	1160
担当課等	所属名	上下水道局 総務経営課		担当係名	
	課長名	内宮康廣上下水道局 総務経営課	担当者名	小笠原正慈	電話番号 6224

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5
	基本事業	経営の効率化	コード 3			関連予算 費目名
			特記事項			
	事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度				⇒(開始年度 S38年度～)
事務事業の概要	上下水道の突発事故等に備えるため、また、安全で美味しい水を市民に豊富で安定的に供給するため、24時間体制で漏水や、凍結相談等、市民の要望に応えるために宿日直業務を行っている。なお、H23年度から更なる事務の効率化を図るため局本庁舎の宿日直業務を民間へ委託している。					
根拠法令等	盛岡市上下水道局当直規程、上下水道局本庁舎当直マニュアル、盛岡市水道料金等徴収業務委託契約書					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
緊急時対応等により、24時間体制で安定給水を確保するため。(当直規程:S38年2月27日制定)						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
なし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
H23年度から民間へ委託している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	給水区域内の市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 給水区域内人口	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 電話取次ぎ電話受付等 給水開始・中止届の受付等 現場対応 給配水管漏水・開栓・緊急事故等初動調査 凍結相談(冬期)・業者紹介 営業時間外の庁舎管理 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 宿日直業務を平成23年4月1日から民間へ委託する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 電話受付等件数	単位	件
				B. 現場対応件数	単位	件
				C. 管理職以外の職員数(愛宕町庁舎勤務者に限る。)	単位	人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	水道は、24時間体制で安定した給水サービスをしていることから、職員の勤務時間外においても、現場での事故発生時の迅速な対応及び市民からの問い合わせや要望等に適切に対応する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 開始・中止届受付等件数 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	件
				B. 要望、凍結等の相談件数 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	件
				C. 従事する職員数 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に経営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	総資本利益率(単位:%) 自己資本構成比率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	給水区域内人口	人	288,719	288,513	290,000	290,000	290,000	290,000	27年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	電話受付等件数	件	1,977	1,375	2,000	849	2,000	2,000	27年度
活動 指標B	現場対応件数	件	501	383	500	251	400	400	27年度
活動 指標C	管理職以外の職員数(愛宕町庁舎勤務者に限る。)	人	102	103	134	147	132	132	27年度
成果 指標A	開始・中止届受付等件数	件	1,174	858	1,400	79	1,000	1,000	27年度
成果 指標B	要望, 凍結等の相談件数	件	751	449	700	467	500	500	27年度
成果 指標C	従事する職員数	人	1,096	1,099	1,099	1,099	40	40	27年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	13,043	13,079	13,043	12,900	14,280	14,280	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	13,043	13,079	13,043	12,900	14,280	14,280	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	13,043	13,079	13,043	12,900	14,280	14,280	*****
	延べ業務時間数	時間	200	200	200	200	200	200	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は, 事務費に含む)	千円	800	800	800	800	800	800	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	13,843	13,879	13,843	13,700	15,080	15,080	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☐ 向上余地がある ☒ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☒ 類似事業がある ☐ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 特になし。(H23年度から民間委託化)
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 特になし。(H23年度から民間委託化)

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 業務の効率化と職員の負担軽減のため、平成23年度から当該業務を民間に委託するため、必要な業務を行った。							
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1"><tr><td>☐ 終了 ☒ 継続</td><td rowspan="2">→</td><td>☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td></tr><tr><td>☐ 廃止 ☐ 休止</td><td>☒ 改革改善を行う</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>☐ 事業統廃合・連携</td></tr></table>  方向付けの理由と改革改善の内容 平成23年度から、民間へ委託することとした。委託後の当該業務について、問題点等を検証する必要がある。		☐ 終了 ☒ 継続	→	☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	☐ 廃止 ☐ 休止	☒ 改革改善を行う		
☐ 終了 ☒ 継続	→	☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)							
☐ 廃止 ☐ 休止		☒ 改革改善を行う							
		☐ 事業統廃合・連携							